

日本認知言語学会第17回全国大会プログラム 【1日目】

9月10日（土）受付9時30分（場所：高層棟1階 正面入り口内のアトリウム）

		第1室 311	第2室 312	第3室 310
ワークショップ	10:00 12:20	<p><テーマ> 「見えない」言語をどう「見る」か—言語知識へ至る方法論に関する考察と議論—</p> <p>○斎藤幹樹(京都大学 [院])・山崎香緒里(お茶の水女子大学 [院])・吉川正人(慶應義塾大学[非常勤])・黒田航(杏林大学)</p>	<p><テーマ> 場の言語学の展開—西洋のパラダイムを超えて—</p> <p>○岡智之(東京学芸大学)・櫻井千佳子(武蔵野大学)・多々良直弘(桜美林大学)・大塚正之(早稲田大学)</p>	<p><テーマ> 世界に研究を発信する—若手研究者から見た意義と方法—</p> <p>○堀江薫(名古屋大学)・秋田喜美(名古屋大学)・遠藤智子(日本学術振興会RPD/筑波大学)・佐治伸郎(鎌倉女子大学)</p>
	昼食休憩 (12:20~13:20)			

開催校挨拶 (明治大学 小川知之 副学長) (13:20~13:30) 会場：5Fホール

<p>特別講演 13:30~15:30 会場：5Fホール</p>	<p>講師：Peter Gardenfors (Lund University) 司会：松本隆 (神戸大学)</p> <hr/> <p>演題：A Semantic Theory of Word Classes</p>
---	--

		第1室 311	第2室 312	第3室 310	第4室 306-307	第5室 304
司会		篠原俊吾 (慶應義塾大学)	高橋英光 (北海道大学)	荒川洋平 (東京外国語大学)	坂本真樹 (電気通信大学)	大月実 (大東文化大学)
第1発表	15:50 16:25	「形容詞「深い」の意味拡張の動機づけ」栗木久美 (名古屋大学 [院])	「「注釈挿入」における復帰時の照応表現の選択」○平田未季 (秋田大学)・松橋瑞貴 (群馬大学)	「中国語感覚形容詞のメタファー用法にみられる制約について—「冷」と「冷冰冰的」を中心に—」張曉琳 (広島大学 [院])	「構文理論に基づいた日本語複合形容詞の意味のパターンに対する一考察」阪口慧 (東京大学 [院])	「日本語・台湾華語・韓国語の「類似性形式」の文末用法—機能拡張の観点から—」○江俊賢 (名古屋大学 [院])・堀江薫 (名古屋大学)
第2発表	16:30 17:05	「痛みに関する表現の意味変化と共感的転用」大谷友也 (大阪大学 [院])	「指示代名詞thatの用法に関する認知語用論的考察」小林隆 (石川工業高等専門学校)	「メトニミーとしてのTough構文」山本幸一 (名古屋大学)	「On the Understanding of HARA, KIMO, and HARAWATA in Japanese」後藤秀貴 (大阪大学 [院])	「中国語と日本語の分裂構文における構文的拡張—否定意味の継承を中心に—」楊竹楠 (名古屋大学 [院])
第3発表	17:10 17:45	「日本語失文法に見られるθ役割と文法役割のマッピング困難—理解と産出の違いは何を意味するのか—」井原浩子 (東京造形大学)	「日本語失文法に見られるθ役割と文法役割のマッピング困難—理解と産出の違いは何を意味するのか—」井原浩子 (東京造形大学)	「Iconicity, Image-schema, Evaluation and order preference of binomials: A cognitive-typological perspective」○Youngmin Oh (関西大学 [院])・KJ Nabeshima (関西大学)	「合成語の一部に埋め込まれた反義語に見られる非対称性について」陳奕廷 (国立国語研究所)	「行為連鎖から見ると感情表出の使役文と形容詞文との関連性—日中両言語の感情の捉え方を比較して—」王安 (岡山大学)

懇親会 (18:20~20:20) 会場：1F食堂

※1日目・2日目ともに、308教室及び309教室にて書籍展示を行います。

日本認知言語学会第17回全国大会プログラム 【2日目】

9月11日(日) 受付9時10分(受付は1日目に受付を済まされていない方だけで結構です)

		第1室 311	第2室 312	第3室 310	第4室 306-307	第5室 304
司会		荒見幸美(名古屋大学)	篠原和子(東京農工大学)	早瀬尚子(大阪大学)	本多啓(神戸市外国語大学)	大橋浩(九州大学)
第1発表	9:30 10:05	「接続助詞ケドの用法に関する一考察」 田中悠介(京都大学[院])	「中国語話者の時間認識に見られるメタファーについて」 鄭新爽(広島大学[院])	「構文の響鳴に伴う意味関係に関する考察」 ○吉川真未(東京大学)・谷ロー美(京都大学)	「An Exemplar Based Model of Embodied Semantics」 Campos Losada, Santiago (フリー)	「自発表現の意味的特徴—認知言語学の観点から—」 樋口紳子(フリー)
第2発表	10:10 10:45	「現代日本語における「ば」の接続制約創出」 瀬戸義隆(大阪大学[院])	「「近づいてくるクリスマス」と「やってくるクリスマス」—時間メタファーにおける「接近」の表現と「来訪」の表現について—」 大神雄一郎(日本学術振興会特別研究員/大阪大学[院])	「構文継承の精緻化を目指して—複数の構文が関与するとき—」 ○野中大輔(東京大学[院]) / 日本学術振興会特別研究員・貝森有祐(東京大学[院])	「A Computational Model of Construction Learning」 Michael Spranger (ソニーコンピュータサイエンス研究所) [招聘]	「動詞派生前置詞 failing と慣用句 failing that の文法的構文化の研究」 田中史哉(大阪大学[院])

10分休憩

司会		小熊猛(滋賀県立大学)	廣瀬幸生(筑波大学)	吉田泰謙(関西外国語大学)	深田智(京都工芸繊維大学)	長谷部陽一郎(同志社大学)
第3発表	10:55 11:30	「情報参照標識としての「-ている」」 永井宥之(京都大学[院])	「日本語とタイ語の一人称代名詞使用に関する認知言語学的考察—出現数の差に注目したケーススタディー—」 ○ロイケオ・スィリアチャー(東北大学[院])・上原聡(東北大学大学院)	「事態生起の順序から見た中国語の移動表現の類型について」 神野智久(大東文化大学[院])	「響鳴からみる子供の前置詞の使用—CHILDESを用いた観察から—」 堀内ふみ野(慶應義塾大学[院]) / 日本学術振興会特別研究員	「日本語における「ノ構文」の振る舞い—少納言コーパスを用いた属性パターンに基づく調査と「進撃の巨人」—」 神原一帆(京都大学[院])
第4発表	11:35 12:10	「話題構造と中国語の二重主語構文—談話レベルと認知事感レベルの接点—」 楊明(関西学院大学)	「日本語の事態把握のための多義基本動詞の通時的変化と指標間の相関関係—短歌のくわれ」と心理動詞のくわれ—」 大槻くるみ(東北大学[院])	「中国語新型「有VP」構文に関する認知的考察—使用基盤モデルおよび存在論的観点から—」 黄利斌(東北大学[院])	「前置詞が副詞辞かを動機づける認知的な要因について」 大谷直輝(東京外国語大学大学院)	「Husbands and wives in English and Japanese: A cognitive, corpus-based semantic and sociopragmatic analysis」 Carey Benom (九州大学) [招聘]

昼食休憩 (12:10~14:00 ポスターセッションを含む)

ポスターセッション	12:30 13:30 16件 同時進行 すべて6F プレゼンスペースにて	「日本語学習辞典開発のための多義基本動詞の意味構造分析法の確立—内省分析を中心として—」 森山新(お茶の水女子大学)	「カテゴリーの周辺例を明示する表現に見られるカテゴリー化—「ぎりぎりX(である)」を中心に—」 関ソラ(名古屋大学[院])	「Classical NEG Raisingに関する認知言語学的考察」 森貞(福井工業高等専門学校)	「Who defines what is cool?: A cognitive critical discourse analysis of the proceedings of the "Cool Japan" Promotion Council」 ○太田奈名子(東京大学[院])・大堀壽夫(東京大学大学院)	「現在完了の意味と主観性」 岩田真紀(京都大学[院])
		「現代日本語における次元形容詞の意味表出」 西内沙恵(立教大学/国立国語研究所)	「福岡県久留米市方言終助詞「タイ」の用法と間主観性」 春日悠生(京都大学[院])	「現代中国語人稱詞「人家」の多義性」 任曉雪(九州大学[院])	「参与者をつなぐメディアと身体性—手法と展開—」 土屋智行(九州大学)	「to不定詞の主體的解釈と仮定性の認知メカニズム」 佐々木昌太郎(高知工業高等専門学校/熊本県立大学[院])
		「主名詞(述語に対峙する名詞)からみた「〜ハ〜ガ文」とその種類」 島映子(昭和女子大学[院])	「「VNをする」構文「ラ格」制約再考のための予備研究」 鈴木武生(早稲田大学/跡見学園女子大学[非常勤])	「中国人学習者の日本語<事態把握>の習得—「現前」と「非現前」の<見え>に於いて—」 関根和枝(中国海洋大学)	「形式と意味の違いが生じるのはなぜか?—英語軽動詞構文に共起する形容詞の事例を通して—」 井口智彰(大島商船高等専門学校/広島大学[院])	「It versus So in the Copulative Visual Perception Verb Construction」 中村聡(跡見学園女子大学)
		「英語感覚習得の実態と認知言語学を参照した指導法」 今井隆夫(愛知県立大学[非常勤])				

総会 (14:00~14:15) 会場: 5Fホール

シンポジウム 14:15 16:55 会場: 5Fホール	テーマ: 「日本語研究から認知言語学的文法研究への貢献」
	司会・講師: 菅井三実(兵庫教育大学) 「変化事象とラ格の振る舞い」 講師: 鍋島弘治朗(関西大学) 「主観的把握と文脈主義」 講師: 堀川智也(大阪大学) 「(ある流派の)日本語研究が認知言語学に与えるインパクト」 講師: 町田章(広島大学) 「日本語間接受身文の被害性はどこから来るのか?—英語バイアスからの脱却を目指して—」

閉会挨拶 (16:55~17:00) 会場: 5Fホール